

びび



比布町を
全力応援



比布中学校の新校舎が完成しました



中央小学校に隣接され、深まる小中連携 第2学期から新生活がスタート

平成30年6月27日に完成した比布中学校の新校舎は、中央小学校と渡り廊下でつながるよう隣接して建設されました。

総工費が約11億8,195万円の
新校舎は、鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ3,849・61平方メートルで、夏は涼しく、冬は暖かい外

断熱工法を採用しているほか、普通教室からは大雪山連峰が一望できる素晴らしい眺めです。

さらに、最新のICT（情報通信技術）を取り入れた効果的な設備を導入し、よりきめ細やかな授業ができるのが特長です。

同年8月20日に行われた第2学期始業式から新生活がスタートしました。田澤満校長が「地域の方や保護者たちの思いや願いの込められた校舎。さらに小中学校連携を深め、小学生からあこがれる中学生になってほしい」とあいさつ。

始業式後には、クラスごとに学校

内を見学して歩きました。

第2学期から新校舎に通いだした生徒たちは、「校舎がともきれいで新しくなって良かった」「床がピカピカ」「校舎の水がおいしく感じられる」「武道場ができてうれしい」など、新校舎への期待と喜びでいっぱいです。

また、平成26年度から始まっている小中連携事業では、少しずつ形を変え、さらに進化されています。

両校の教諭が行き来しての「乗り入れ授業」や「出前授業」、中1ギャップを防ぐための「中学校生活体験」、小中学生が一緒に行く「合唱」「マラソン」「あいさつ運動」、授業時間が異なるためあえてチャイムを鳴らさない「ノーチャイム運動」も実施されています。これ以外にも様々なサポートで子どもたちを支え続け、次年度から本格始動する小中一貫教育に向けより一層の取り組みが進められています。

なお、11月19日には落成記念式が挙行され、盛会のうちに終えました。



両校名が一体となっている表示板



乗り入れ授業

まちのできごと Town News

2018.3- 2019.2



味之三平の醤油ラーメン

平成30年3月18日

旭川比布同郷会が総会を開催

3月29日

創業50年の「味の三平」が惜しまれつつ閉店

4月14日

大石陽斗さん・長尾健吾さんペア（ソフトテニス少年団）が山形県で開催の第8回庄内エアポルトカップ小学生ソフトテニス大会に出場

5月31日

比布駅前新たな食事処「のうりえ食堂」がオープン

6月24日

東京比布会が総会を開催

7月1日

J A びつぷ町の裏通りに「カーミスカフェ」がオープン

7月8日

札幌比布会が総会を開催

8月1日

ピップ樹代表取締役社長の松浦由治さんを比布町応援大使に委嘱

8月12日

シンガーソングライターの瀬川あやかさんを比布町応援大使に委嘱

ふるさと会から

各会では会員を募集しています。各連絡先または比布町役場総務企画課まちづくり推進室広報係へお気軽にご連絡ください。



平成30年3月18日に開催された総会には95人が出席。懐かしい友人らと近況報告。ふるさとの思い出話を花を咲かせました。

旭川比布同郷会

- 会長 合田春夫さん
 - 会員 約350人
 - 総会 毎年3月中旬ごろ
 - 会費 5,000円程度
 - 連絡先 今野浩安さん
- ☎ 0166-61-4492



平成30年7月8日に総会を開催。90人が出席し、特産品販売が行われたほか、「ふるさと」を合唱し、楽しいひとときを過ごしました。

札幌比布会

- 会長 橋本芳枝さん
 - 会員 約250人
 - 総会 毎年7月上旬ごろ
 - 会費 5,000円程度
 - 連絡先 高橋美伸さん
- ☎ 090-1640-3453



平成30年6月24日に開催した総会には68人が出席。今年の新米やメロンなどが当たる抽選会などが行われ、盛会のうちに終わられました。

東京比布会

- 会長 牧野 正さん
 - 会員 約300人
 - 総会 毎年6月下旬ごろ
 - 会費 8,000円程度
 - 連絡先 深瀬和昭さん
- ☎ 048-554-6765



「ふるさと寄付金」とは、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、控除上限額内の2,000円を越える部分について税金が控除される制度のことです。寄附先の数や金額、回数に上限はなく、ご自身の控除上限額内であれば、実質2,000円の負担で複数の地域を応援できます。

★お礼の品



久保農園のゆめぴりか精米5kg



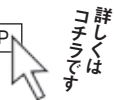
小ねぎシリーズ(3本セット)



いちごアイス(10個セット)

その他にも、たまごかけごはんセット、メロン「甘栗」、苺ジャムなど合計14品から選ぶことができます。

検索 比布町HP



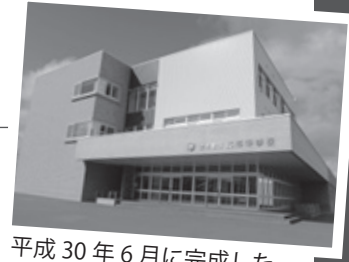
比布町内の若手有志が開発した人気の品「ぴっぷ小ねぎしょうゆ」の発売から3年。「ぴっぷ小ねぎ」シリーズの第2弾として、新たに「塩だれ」「ポン酢」が平成30年3月15日から発売されました。キャベツなどの野菜にもぴったりの「塩だれ」としゃぶしゃぶ鍋などのお肉に合う「ポン酢」ともに各580円で販売(1本185ml)。ドレッシングや漬けたれとして、使い方はさまざま。町内のぴっぷ商店、(株)荒尾、レストラン紙風船などで販売中。お取り寄せも可能です。また「しょう油」を加えた3本セットがふるさと納税の返礼品でも大好評です。ぜひご賞味ください。



- 9月1日 旧ローソン跡に新鮮野菜直売場「NANA PLAZA(ナナプラザ)」がオープン
- 9月16日 演歌歌手の水森かおりさんを応援大使に委嘱・ミニライブ開催
- 11月19日 比布中学校落成記念式を挙行
- 11月21日 北海道日本ハムファイターズ応援大使事業にて、中島卓也選手・上原健太選手が来町
- 12月15日 エクスベリエンス・マーケティングの創始者で有名な藤村正宏さんを応援大使に委嘱
- 12月25日〜28日 比布剣道スポーツ少年団が兵庫県で開催の内閣総理大臣杯授与第36回若鷺旗剣道大会に初の比布単独チームとして全国大会出場
- 2月10日 ピップスノーマイトフェスティバルで、応援大使の瀬川あやかさんのミニライブを開催

歴史を訪ねて

昭和22年の学校教育法の制定により、義務教育は小学校6年、中学校3年の9年制が定められ、昭和23年から3か年計画で「比布中学校」が建設されました。



平成30年6月に完成した現比布中学校校舎。

木造校舎から20年以上経過し、鉄筋コンクリート造校舎へ全面改築。昭和53年11月10日には新築落成式に併せ、開校30周年記念式典が行われました。現在、旧中学校校舎は、プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」が有効活用している。



当時、全村民の念願でもあった比布中学校の建設。昭和25年度の在籍生徒数は606人、学級数は13クラスもありました。

比布中学校の創設

昭和22年6月に新しい制度による比布村立比布中学校が創設され、比布・東園・蘭留の3小学校に分割措置がとられ、昭和23年度からの3か年計画で中学校校舎の建設計画が検討されました。

しかし、当時の比布村の財政状況は極めて窮迫しており、校舎建築の財源調達は、容易なことではありませんでした。

昭和23年から進められた中学校校舎の建設には、総工費約1,200万円を要して、教室12、特別教室1、屋内運動場その他の付属室など、総坪数915坪で完成され、昭和25年12月12日に盛大な落成式が行われました。

この間、数々の財政難に直面し、村有宅地の売却や村民税を増徴して校舎建設の財源に充て着工。昭和23年の第1期工事では、北2線8号の荒谷与太郎氏から校地6,600坪を買収し、ほぼ全村民が出勤しての奉仕作業により、整地が行われました。

さらに、昭和24年6月に比布中学校期成会が発足し、校舎の建設工事と並行して、村内各戸から寄付を募り、校舎正面の溝路石垣工事が施工されました。

(参考・比布町史)

発行・編集

ふるさと通信『ぴぴ』平成31年3月6日発行(通巻第19号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



新校舎内に作られた武道場

まちの人口

総数 3,750人

男 1,771人

女 1,979人

世帯数 1,836世帯

■平成31年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴぴ」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。